

Vision

人生100年時代のキャリアビジョン

YOURSELF

男女共同参画推進センターが主催する 全学部1年生へ向けた講義です。



CAREER



水曜 5限目 [16:20−17:50]



日	講義概要	中島 美帆(理学部) 関 利恵子(経法学部)
日	芸術表現の身体一多様な コミュニケーションの交錯地点	北村 明子(人文学部)
В	ワークライフバランス	間宮 敬子(医学部附属病院)

	8日	平等とは何か、人権とは何か	加藤	善子(高等教育研究センター)
5	15日	男女格差の構造	加藤	善子(高等教育研究センター)
May	22日	男女雇用機会均等法と 社会保障制度における女性の地位	島村	暁代(経法学部)
	29日	セクシュアルマイノリティ/ LGBTとダイバーシティ	星野	慎二氏(特定非営利活動法人SHIP理事長)



5目	ワークライフバランスと 女性管理職登用	岩田	一哲 (経法学部)
12日	女性管理職のストレス	岩田	一哲 (経法学部)
19日	文系・理系とジェンダー	中島	美帆(理学部)
26日	作業ではなく仕事をするための 働き方改革	石井	宏宗氏(サンシングループ代表)



3日	男性と育児	坂口 けさみ(信州大学特任教授・名誉教授)
10日	料理とジェンダー	高崎 禎子(教育学部)
17⊟	未来の家族を考える	香山 瑞恵(工学部)
24日	講義総括	中島 美帆 (理学部) 関 利恵子 (経法学部)

多様な性、いろいろな働き方、未来の自分、人生100年時代の中で 誰もが輝けるこれからの社会を考える講義です。



本講義の特徴

- 12名の多彩な講師陣によるオムニバス形式の講義です。
- 多様な働き方・生き方について学ぶことができます。
- 様々な視点からのものの見方ができるようになる、かも?!

講義が終わるころには・・・

大学1年のはじめの時期に本講義を受講することで 多様な"もの・コト"に対する柔軟な思考・対応が できるようになっているかもしれません!

2019年度講義の様子をすごしだけご紹介!



セクシャルマイノリティの支援活動をされている 星野慎二先生にお話しいただきました。



(セクシャルマイノリティの子どもたち を取り巻く課題に触れ) ロールモデル が身近におらず、「自分と同じ人ってい るのだろうか?」という孤独感を抱えています。 そうした問題は本人の問題ではなく、「周りの 問題」です。

環境が整えば自分らしくいられるのです。みん ながアンテナを高く張り、情報を得るためにも こうした講義を継続していくことの必要性があ るのです。



長年にわたって健康経営を続け、独自の働き方改革の 取り組みを導入しているサンシングループ代表の 石井宏宗先生にお話しいただきました。



「作業ではなく仕事をするための働き方改革」

働き方改革の具体的な内容を知ることが、将来の キャリアビジョンを見据えることにつながり、人口 知能(AI)が活躍するこれからの時代に求められる 力は何かを改めて考える機会となったようです。

❷ 受講した学生の感想

どのような仕事がなくなり、どのような人材が求められる か具体的に知ることができ、とても興味深い内容だった。

< 受講生の声^{*}

Q. この講義を受けてみてどうですか?

A. 僕は教員を目指していて、自分がジェンダーや男女共同参画ということ を理解したいと思い受講しました。学校の先生も無意識にやってきているこ ともあるかもしれないし、親からも小さい時から「男なんだから」と言われた りしています。自分がここで学ぶことによって、将来、自分の生徒に正しい知 識を教えられると思います。

Q.毎回先生が変わりまずが、どのように感じますか?

A. 毎回先生が変わることによって、いろんな面からの話が聴けますよね。 手厳しい意見であったり、共感できる話であったり、先生が変わることによる メリットは大きいと思います。 ※2018年度受講生

